

令和5年度東京都立小金井工科高等学校 学校経営報告

東京都立小金井工科高等学校

校長 森田 常次

1 令和5年度学校経営計画の実施結果(概要)

就職や進学などの生徒の進路実現に向けた「基礎学力の向上」及び「キャリア教育の充実」に取り組むとともに、本校志望者数の増加にむけた「学校説明会、体験入学、学校HP等の広報活動の充実」を図った。

「基礎学力の向上」については、ユニバーサルデザイン(以下、UD と表記)の視点を取り入れた学習指導や補習・補講・講習の実施などの取組を実施したが、進級率(全体)89.5%、1学年進級率 76.5%と進級率(全体)95%以上、1学年進級率85%以上の目標を達成することができなかった。「キャリア教育の充実」については、4年生 12名全員の進路(就職9名、進学3名)が決定し、進路決定率95%以上という目標が達成できた。休日の学校説明会の実施や学校ホームページのリニューアルなどに取り組んだが、志願者の増加にまでは至らなかった。

次年度も引き続き、基礎的・基本的な学力の定着及び幅広い教養と進級率の向上と進路実現を目指すとともに、キャリア教育の充実を図っていく。

2 今年度の取組と自己評価

本年度の活動目標と主要方策別に振り返りを行うとともに、次年度取り組むべき課題を整理した。

(1)「教育活動の目標と方策」に対する結果と次年度への反映

活動目標	本年度(令和5年度)の主な方策	取組結果(○:達成、△:一部達成、×:未達成)	次年度への取組課題
学習指導の充実	①基礎的・基本的な学力の定着、学ぶ意欲の醸成 ・授業時数の確保及び補習や講習の実施 ・ICT 機器を活用した教科指導上の工夫 ・教職員相互の授業参観等の促進 ・授業評価アンケートによる授業改善の実施	【△】 ・授業時数を把握し、時間割変更を行うことで各科目の授業時数を確保できた。 ・一人1台端末を活用した学習指導の工夫により、基礎学力定着を図る取組は十分でなかった。	・引き続き、授業時数の管理することが必要である。 ・一人1台端末を活用した教科指導方法の工夫が必要である。
	②学習指導上、配慮を必要とする生徒への支援 ・UDに基づく学習環境の整備 ・個に応じた学習指導の推進	【○】 ・個々の到達度に応じた補習や補講を実施することで、学習習慣の定着を図ることができた。 ・個々の特性を尊重した学習指導の工夫ができた。	・補習を更に充実させ、学習意欲を高める指導の工夫が必要である。 ・特異な特性をもった生徒理解を深める研修が必要である。
	③専門高校としての教育課程の確実な実施と充実 ・資格取得を目指した講習の実施 ・観点別学習状況の評価と指導の一体化	【△】 ・観点別学習状況の評価が指導に生かされる状況には十分でなかった。	・観点別学習状況の評価の在り方と指導に生かすための考え方についての研修が必要である。
進路指導の充実	①進路決定率の向上 ・進路決定に役立つ企業(学校)見学会や就業体験の実施 ・適性検査やキャリアサポートの活用の充実 ・「人間と社会」による生き方・在り方の指導の工夫	【○】 ・企業見学会、職場体験や体験型進路講演会を実施することができ、職業観や就労観を高めることができた。	・今年度の取組を更に充実させていく必要がある。
	②効果的な進路情報の提供の工夫 ・外部専門機関や企業との連携による説明会の実施 ・求人票等の情報を生徒に提供する上での諸改善 ・特別な支援を必要とする生徒の進路実現に向けた専門機関等との連携促進	【○】 ・企業等との連携による説明会を実施し、進路決定率100%を達成した。 ・ネットワークを活用した求人票情報提供システムの活用ができた。	・説明会の充実と求人票情報提供システムの円滑な活用の仕組みの構築が必要である。
	③進路先開拓活動の実施 ・新規、卒業生就職先訪問の実施 ・ハローワークとの連携の充実	【○】 ・多数の企業訪問ができた。	・卒業生就職先を訪問し、更なる連携につなげる。
生活指導の充実	①基本的な生活習慣の確立及び規範意識の醸成 ・情報共有や全職員の一貫した指導体制の確立	【○】 ・授業規律や規範意識の醸成に関する指導について共通理解を図り、取り組むことができた。	・継続し、情報共有を更に充実させる必要がある。

	<p>②交通安全指導の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車の運転に関わる安全指導の実施 	<p>【△】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全講話等の実施はでき、生徒の安全意識を向上させることができた。しかし、ヘルメット着用をしていなかったため、頭部のけがを負う自転車事故を防ぐことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルメット着用の指導を徹底する必要がある。
	<p>③防災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災ノートやマイタイムラインの活用、防災講話の実施 	<p>【△】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災講話等の実施はできたが、避難訓練等については工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が臨機応変に対応できるようになる避難訓練等の工夫を行う。
	<p>④いじめに対する総合対策の実施及び自殺対策に資する教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校いじめ対策委員会を中心とした指導体制の確立 ・自殺総合対策大綱に基づく指導の実施 ・生徒の SOS をキャッチしやすい教育環境の確立 ・スクールカウンセラーと担任の連携 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒情報の共有が十分にでき、指導に役立てることができた。 ・SC との連携も充実させることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有の場を定期的に設定するなどして、更に充実した生徒のケアを行っていく。
	<p>⑤特別支援教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導に関する指導体制の確立 ・関係する生徒、保護者への丁寧な説明と対応 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級指導に係る指導体制を確立することができた。 ・SC、YSW 等との連携が円滑に行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通級指導については、全校体制となるようなシステム構築を進める。
	<p>⑥自己管理能力の向上と食育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ給食(親校)機能の充実 ・食堂におけるルールの定着と円滑な運用 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめのない学校づくりを目指し、研修を実施するなどして意識の向上と体制確立ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意識を高める取組を更に充実させる必要がある。
特別活動・部活動の充実	<p>①自己肯定感の向上及び帰属意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的で計画的な HR 活動の充実 ・学校行事等の充実により生徒の自主性を育成 ・ボランティア活動や地域活動の推進 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに校外学習(遠足)を導入するとともに、都の事業を活用して全学年対象のフィールドワーク(伊豆大島)を実施することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感や帰属意識を高める学校行事となるよう系統的に構築する必要がある。
	<p>②生徒の体力向上の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都統一体力テストの実施と施策の活用 	<p>【△】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストでの結果は高くなく、運動の習慣化を図ることが十分でできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業内容を充実させ、運動を習慣化させる必要がある。
募集・広報活動の充実	<p>①学校説明会への積極参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同説明会、体験入学などに参加 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同説明会、体験入学、週休日の学校説明会の実施など積極的に広報活動に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校生徒・保護者に対して、本校の特色の理解を図る工夫が必要である。
	<p>②ホームページの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活躍、施設・設備の魅力、トピックス等の紹介 ・ホームページ更新の促進、企業向け来校案内の充実 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校見学や生徒募集等に関する情報は、提供できた。 ・HP をリニューアルし、本校の教育活動の魅力伝えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある教育活動を広報できるよう更に工夫する必要がある。
	<p>④来校者対応の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接客マナーの向上、来校希望者への誠実な対応 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部中心に、企業からの来校者に対して丁寧な対応を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する。
学校経営・組織体制の充実	<p>①服務事故防止に関する取組の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内個人情報管理基準の運用徹底 ・体罰の根絶に向けた取組の推進 ・定期的な研修会及びチェックシートによる教員自身の振り返りを実施 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修等を十分に行うことができ、服務事故が 0 件であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する。
	<p>②働き方改革推進に向けた業務の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の継承と OJT を目的とした分掌内分担の実施 ・コストパフォーマンスが高い業務遂行の工夫(計画的に行う、ムダをなくす、整理整頓) ・多摩科学技術高校との日常連携の促進(各分掌) 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化が図られ、教員の定時外在校時間は少ない状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・更に計画的に業務の効率化を図る必要がある。
	<p>③経営企画室の経営参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者業務情報連絡会や研修会を通して、進行管理を適切に実施 ・円滑な教育活動の実施に資する業務遂行 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に分掌内分担を明確化することができた。 ・OJT を推進することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続する

(2) 令和5年度重点目標への取組と自己評価

活動目標	項目	目標値	評価
学習指導 の充実	①生徒が楽しい授業・理解しやすいと感じている授業を展開している教員の割合	90%以上	達成 94.1%
	②教員相互の授業参観による授業研究の教員一人当たりの回数	5回以上	未達成 0回
	③観点別評価の在り方や評価と指導の一体化に関する研修会の実施回数	3回以上	未達成 1回
	④資格取得に向けた講習会を実施した回数		達成 4講座実施
進路指導 の充実	⑤進路決定に向けた指導や情報提供がされたと感じている生徒の割合	80%以上	達成 96.1%
	⑥就業体験に関する満足した生徒の割合	80%以上	達成 100%
	⑦進路決定した生徒の割合	90%以上	達成 100%
	⑧新たな資格取得にチャレンジした生徒数	30名以上	未達成 29人
生活指導・ 保健活動 の充実	⑨交通安全・防災に関する授業・講習会の実施回数	5回以上	達成 8回
	⑩いじめ・自殺等に対する防止対策に関する研修会の実施回数	6回以上	達成 6回
	⑪特別支援教育を推進していることを理解している生徒・保護者それぞれの割合	85%以上	達成 生徒 84.3% 保護者 90.6%
特別活動 等の充実	⑫ホームルーム活動・学校行事が有意義だと感じている生徒の割合	80%以上	達成 84.3%
	⑬学校行事・ボランティア活動に今後参加したいと感じている生徒の割合	80%以上	未達成 76.5%
募集・広報 活動の充実	⑭合同説明会への参加、学校見学会、体験入学など実施の回数	10回以上	達成 11回
	⑮ホームページの閲覧(アクセス)数	500回以上	達成 58142回
学校経営・ 組織体制	⑯服務事故防止に関する研修会及び自己チェックの実施回数	3回以上	達成 3回
	⑰定時外在校時間 80時間以上の教職員数	0人	達成 0人
	⑱効果的・効率的な予算執行(一般需用費のセンター契約集約率)	60%以上	未達成 43.4%